

縮小社会研究会 生物多様性分科会の開催

1、日:6月10日 ・討論;午後2時～ ・懇親会;午後5時～

2、所:事務所 (<http://www13.plala.or.jp/npo-pie/map.html>)

3、議題

1)縮小社会の人口について

◇前回 WG において、五十嵐先生にご紹介して頂きました西村先生の「人口減少と縮小社会経済のゆくえ」と題した講演が、6月5日例会 で行われます。この内容をフォローする形で検討したいと考えています。また、本タイトルは清水先生にご紹介して頂いた吉田隆彦さんの著書「日本人はどこまで減るかー人口減少問題のパラダイムシフト」と比較 すると面白いと思います。

2)縮小社会における生物多様性の課題について

①日本列島の生物多様性に限定して考えると、人口縮小は生態系への負荷が減少して有利になる。

②人口縮小とシンクロする形で安価なエネルギー(化石燃料)が枯渇することが問題であり、生態系への負荷を増大させる。

③縮小社会における生態系サービスへのニーズ変化に対して、生物多様性のありかたが重要となる。

◇これらの討論から課題をあぶり出せればと考えています。

③に関しては、小川正嗣さんの岡山講演「縮小社会と生命倫理学」

<https://youtu.be/C0FOKWxSpSM> が参考になるとと思います。

3)生物多様性分科会の小冊子編集について

◇3月の総会で、「縮小社会の必然性と政治(創刊号)」と題した冊子が配布されましたが、参考にしたいと思います。

4、図書の紹介

タイトル「多種共存の森」2013年 築地書館

著者:清和研二 北大農学部卒、東北大農学研究科教授

書評:北海道、東北地区を対象にして樹木の多種共存のメカニズムを解明した。

森林の生物多様性回復の指針を提案している。検証期間が短いのが気になる。

元田武彦